

5月の米国ハイ・イールド債券は続伸

ポイント



1. 5月の米国ハイ・イールド債券市場概況
2. デフォルト動向、および、利回りやスプレッドの推移
3. 今後の経済・市場見通し

1. 5月の米国ハイ・イールド債券市場概況

5月の米国ハイ・イールド債券は続伸

5月の米国ハイ・イールド債券市場は+0.29%と小幅高で、利回りは4.16%に僅かに上昇しました。米5年国債利回りは0.08%低下して0.78%となり、対米5年国債スプレッドは0.11%拡大しました。

ワクチン普及により米国での新型コロナウイルス新規感染者数は順調に減少しており、力強い経済再開が進んでいます。景況感指数などの多くの指標が改善しており、エンターテインメントや輸送といったコロナ禍で苦しんできたサービスセクターが大きく上昇し、また、ハイ・イールド債券の全ての格付セグメント、そして、ほとんどのセクターが上昇しました。

低格付けカテゴリーが引き続き好調

格付別の月間リターンは、CCC格以下+0.76%、B格+0.22%、BB格+0.26%となり、CCC格以下が米国ハイ・イールド債券市場全体を上回りました。セクター別月間リターンでは、エンターテインメント+3.43%、出版+1.54%、輸送+1.17%が上位3業種で、ヘルスケア▲0.43%、公益▲0.38%、鉄道▲0.19%が下位3業種でした。

米国ハイ・イールド債券市場の動向

	リターン		利回り	
	5月	年初来	5月	前月比
米国ハイ・イールド債券指数 (全体)	0.29%	2.31%	4.16%	0.03%
格付け別				
BB格	0.26%	1.06%	3.33%	0.01%
B格	0.22%	2.43%	4.49%	0.10%
CCC格以下	0.76%	7.33%	6.93%	-0.16%
セクター別				
エンターテインメント	3.43%	27.55%		
出版	1.54%	6.53%		
輸送	1.17%	4.29%		
鉄道	-0.19%	0.19%		
公益	-0.38%	-0.74%		
ヘルスケア	-0.43%	0.20%		
米国債 (5年)	0.43%	-1.45%	0.78%	-0.08%
米国債 (10年)	0.51%	-5.52%	1.59%	-0.04%

時点：2021年5月末時点

セクターについては、5月リターンの上位3業種と下位3業種をあげています。

使用している指数については、P4をご参照ください。

(出所) ICE、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

2. デフォルト動向、および、利回りやスプレッドの推移

デフォルト動向

5月末のデフォルト率(金額ベース)は2.58%となり、4月末の3.17%から低下、過去平均をやや下回りました(右上図)。

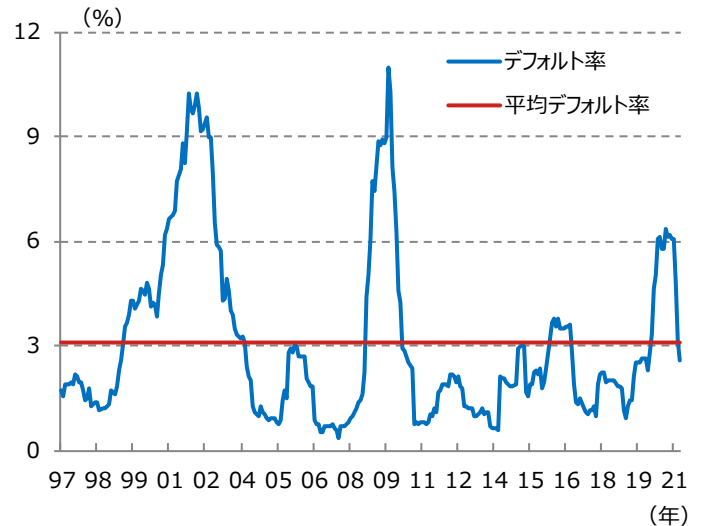
5月は米国ハイ・イールド債券市場でデフォルトが発生しませんでした。今年はエネルギー業界や航空業界などでデフォルトが発生してきましたが、ワクチン接種が進み、各地で人々の行動制限が緩和されてきたことで、原油や航空に対する需要が回復、コロナ禍で苦しんできたこうした業界にもトンネルの出口が見えてきたようです。このような動きが続くことで景気回復が進み、今後12カ月の米国ハイ・イールド債券市場のデフォルト率は低水準で推移すると予想しています。

利回りやスプレッドの状況

5月末時点で、米国ハイ・イールド債券市場の利回りは4.16%と前月比でやや上昇しましたが、依然として過去20年余りでの最低水準圏にあります。対5年国債スプレッドも3.38%と前月よりは拡大したものの、依然として過去10年では最低水準にあります(右下図)。

経済活動の再開が進み景気回復が進んではいるものの、依然として多くの失業者が発生しており、失業者はコロナ前の水準と比べると300万人以上も多い状態にあります。こうした厳しい雇用状況を受け、FRB(米連邦準備制度理事会)は緩和的な金融政策を維持することを強調しており、昨年夏場以降に上昇してきた米国債券利回りが頭打ちになるなど、米国ハイ・イールド債券にとって好ましい環境が続いています。

米国ハイ・イールド債券のデフォルト率の推移

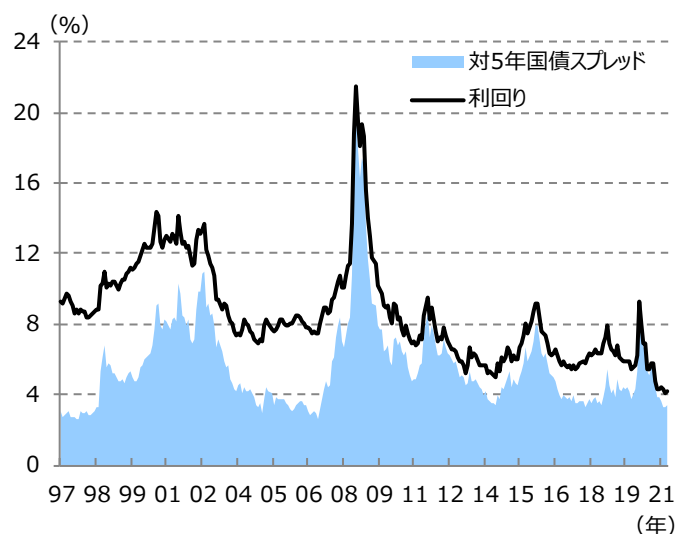


期間：1997年1月末～2021年5月末、月次

※ 平均デフォルト率は、1997年1月末～2021年5月末の平均値

(出所) JPモルガンのデータを基に野村アセットマネジメント作成

米国ハイ・イールド債券の利回り、スプレッドの推移



期間：1997年1月末～2021年5月末、月次

※ スプレッドは米5年国債利回りとの差

使用している指数については、P4をご参照ください。

(出所) ICEのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

3. 今後の経済・市場見通し

米国ではインフレ率が急上昇

米国では足元のインフレ率が急上昇しています。6月10日に発表された米国の5月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比で+5.0%と2008年に一時的に付けた高水準と肩を並べる状況となっています。変動が激しい食料品やエネルギーを除いたコアCPIでも同+3.8%と、2000年以降で最高水準となっています。

但し、半導体不足で新車生産に制限がかかったことで中古車価格が急上昇している影響や、経済再開でレストランなどのサービス産業に需要が戻っている中で、手厚い失業手当が出ていることで労働需給がタイトになっているなど、一時的な要因が多いようです。

米国債券利回りは上昇一服

インフレに加速感が見られる一方で、昨秋頃から上昇基調にあった米国債券利回りは4～5月に上昇一服となり、6月に入ってから低下しています。FRBは、経済再開に伴うインフレは一時的なものとみなしており、緩和的な金融政策スタンスを当面続けるとしていることが債券市場の支えになっているようです。

経済再開に伴う景気回復が企業業績を下支えすることでデフォルトが抑制され、債券利回りが低位安定することで、当面の米国ハイ・イールド債券市場にとっては好環境が続くと思われます。但し、2022年以降にはFRBが量的緩和の縮小に動くことが予想されており、そうした展開を市場が織り込み始める状況は、今後における最大の注意事項だと考えています。

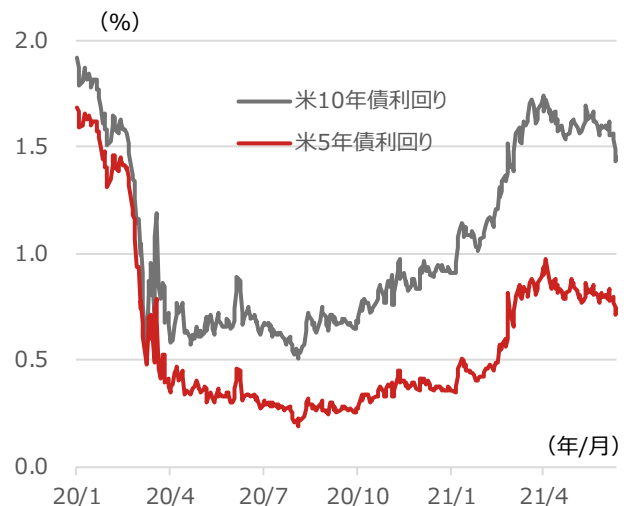
米国消費者物価指数の推移



コアCPI：食料品、エネルギーを除く
期間：2000年1月～2021年5月、月次

(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

米国債券利回りの推移



期間：2020年1月1日～2021年6月11日、日次

(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

<当資料で使用した指数について>

米国ハイ・イールド債券指数(全体) : ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(BB格) : ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(B格) : ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(CCC格以下) : ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(各セクター指数) : ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数

米国債券 : ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- 「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」は、米国ハイ・イールド債市場のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®」は、「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」のうち、それぞれ、BB格、B格、CCC格以下の社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数」は、「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®」のうち、各セクターの社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®」は、米国5/10年国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 当該指数はICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はICE BofAに帰属しております。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2021年6月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断下さい。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会